

MARIANNE: 皆さん、こんにちは。さっそく株式市場を振り返ってみましょう。

それではABキャピタル証券株式会社の今日はランスさんに今週の株式市場の報告をしていただきます。

MS. MARGA: さて、先週9月13日から17日までの1週間のまとめです。西アジアの金融市場、特に香港と中国の市場では、米国市場の4週連続の上昇を破って、フィリピンでは最初の週に損失が出ました。evergrande社のニュースを聞いた方。決済の恐怖がある。また、米国市場では、今週から始まるFRBによる金融刺激策からの離脱が懸念されていますが、これも含めて世界のあらゆる市場に波及しています。

MR. IEMURA: そのFRBの会合は今週開催されるんですよね？

MS. MARGA: 今週、今日から2日間開催されます。フィリピンのその他のニュース、経済や産業のニュース記録、毎日のCOVID-19の問題が続いています。フィリピンでは徐々にマイナス成長が始まっております。NCR(メトロマニラ)では、ECQのレベル1からGCQのレベル4に変更されました。つまり、MECQに比べて緩和しているということですね。GCQには4つのレベルがあります。現在、私たちは一番下のレベルにいるわけです。フィリピン国内の学校で対面式の授業を行う試みも行っています。企業ニュースでは、アポイティズ・パワー社が有望な投資家と交渉中です。バブル期の投資家がいるという噂もあります。私たちは、彼らがこの件を推進するかどうかを見ています。さて、先週から、ご覧の通り、これはフィリピンとのPSEiチャートです。現在、先週から直近の5日間は相場が安定しているか、このレベルで推移しています。私たちは7000で最初の抵抗を探しています。そして、当面のサポートは67~6600あたりです。

MR. IEMURA: はい、ありがとうございました。マルガさん、私はすでにアポイットパワーズの動きに興味を持っていました。現在、彼らは大口投資家と資本調達の話をしているのでしょうか？

MS. MARGA: 現在のところ、噂だけです。

MR. IEMURA: 噂ですか。オーケー。オーケー。

MS. MARGA: 確定したニュースはありません。

MR. IEMURA: 具体的な名前がありますか？KKRか、KKRがFGENに投資したのか？これと同じような動きが起こる可能性があると思うのですが、では、株価が大きく上がった方がいいのでしょうか？

MS. MARGA: はい。現在、FGENも公開買付けを行っていますね。9月27日がAB資本の最終日となりますので、株式を公開したい方はご連絡ください。

MR. IEMURA: アポイティズ・パワーにはKKRのような特定の名前があるのですか？

MS. MARGA: 現在、名前はありません。でも、もしかしたらあるかもしれないという噂があるだけです。

MR. IEMURA: 噂はとても重要です。もしかしたら、他の米国の大規模なヘッジファンドや何か大きなものがあるかもしれません。

MS. MARGA: 今はまだ確認できません。しかし、アポイティズ・パワーに興味を持っている人がいることだけは知っています。

MR. IEMURA: ああ、これはすでにどこかの新聞に書かれていたことですが、アポイティは見込みのある投資家と話をしているのですか？

MS. MARGA: 興味を持っていると書いてあるサイトがありましたが、それが成功したかどうかは書いていません。

MR. IEMURA: わかりました、その情報を教えてください。これらの情報は本当に貴重です。

MS. MARGA: わかりました。

MR. IEMURA: とても貴重です。そして私が最も懸念しているのは、このような情報です。ええ、私たちは基本的に長期的な投資家です。だから、長期的なトレンド、長期的なキャッシュの動きに注目しています。だから、特定の会社の株に入ってくる大きなお金は上がらなければならない。つまり、FGENがKKRから資本を得たケースのように。このようなニュースは、私たちにとってとても貴重なものです。私たちはこのような株価の大変動を力にします。現在、エネルギーセクターでは外資の資本規制が緩和されているのですね。これは、多くの落ち目の大口投資家が、フィリピンのエネルギー市場に参入する機会を狙っているということだと思います。

MS. MARGA: はい。政権交代、エキサイティングな時代ですね。そうですね。

MR. IEMURA: 資本緩和は、投資家が利益を得るために立ち上がる、本当に良いチャンスですね。わかりました。どうもありがとうございました。私の質問は以上です。

MS. MARGA: ありがとうございました。

MARIANNE: さて、レクスターさん、ランスさん、家村さん、松下さん、今日はありがとうございました。以上、ABキャピタル証券の週刊株式市場をお送りしました。来週もよろしくお願いします。